



vol.10 発酵牧野人特集!

*2025年2月発行 *企画・制作・発行・デザイン/ 朝ドラ「らんまん」顕彰会 〒789-1201 高知県高岡郡佐川町奥の土居 市川方 kawazumakeruna@bell.ocn.ne.jp

朝ドラ「らんまん」をきっかけに発刊、牧野富太郎博士を顕彰する媒体「牧野人」、おかげさまでそのネットワークが宮城県へと広がりました。仙台市野草園の元園長、東北植物研究会会長の上野雄規氏の知遇を得ることができたのです。そして、牧野博士が生涯で5回訪れ、スエコザサを発見し、博士命名のヨコグラノキの北限地帯でもある宮城県を、上野氏の懇切丁寧な案内で巡ることができました。今回の探訪記はその時の体験と上野氏から頂いた数々の貴重な資料をもとに記したものです。

2024年11月3日午前9時過ぎ、白石市在住の上野氏とJR白石蔵王駅で落ち合い、同氏の車で天然記念物(1943年指定)のコツガヤの太木を経由し、小原地区(白石市)にある材木岩公園に向かいました。現場には行けませんでした。白石川をはさんだ材木岩の対岸の虎岩に天然記念物

ヨコグラノキ北限地帯、ヒダリマキガヤ、コツガヤなどの天然記念物を発見した齋藤四郎治氏(1872~1946)の顕徳碑にも立ち寄り、齋藤氏は小原生まれの教育家で、東京にあった

そのスエコザサの、牧野博士が発見した当時(1927年12月1日)の標本に、次に向かった東北大学植物園津田記念館で出会うことができました。(続きは4面へ)



仙台市野草園のスエコザサ

探訪牧野博士の歩いた道白石市・仙台市(宮城県)ヨコグラノキの北限地帯、仙台市野草園を巡る



齋藤四郎治先生顕徳碑とヨコグラノキ

早川植物研究所(早川佐七が1924年に設立)でも「植物分類学ノ大成ニ精進実地研究ニ挺身した方。座右の銘は「社会ハ人生ノ奮闘場ナリ」。碑の脇にはヨコグラノキが立派に枝を広げていました。

水琴窟もある同園には、うれしいことに「牧野富太郎博士ゆかりの植物」として、スエコザサや小原地区の実生苗から育ったヨコグラノキが博士の笑顔のイラスト付きで紹介されていました。スエコザサは「岩手県南部と宮城県中部の丘陵地帯の主として林縁にやや希に野生している」(スエコザサ研究史)



三居沢のスエコザサ

(1面から) Sasa Suwekoana Makinoと牧野博士がスエコザサの学名を記載した「植物研究雑誌」通巻第38号(1928年4月18日発行)、その誌面を見ることなく壽衛さんは同年2月23日に永眠されました。妻であり共同研究者でもあった壽衛さんを偲び、博士は「家守りし妻の恵みやわが学び」、「世の中のもの限りやスエコザサ」と詠んでいます。

1日した日から2日後に、博士の案内役の岡田要之助氏(当時東北大学助手)が採集したスエコザサの標本を見ることになりました。当時の岡田氏の日記を息子の汪(ひろし)さんが「するさき余録」(2002年)にまとめてくださることに引用します。

上野氏からはもう一つ、花付のスエコザサの標本を見せていただきました。1994年6月28日に仙台市太白区太白自然観察の森で氏が自ら採集したものです。「程基部中部の節から抽出した花茎の先端に数個の小穂をつける」(小林幹夫『原色植物分類図鑑日本のタケ亜科植物』北隆館)世界初の花付きの標本にただただ見入ってしまいました。



発見当時のスエコザサの標本

札幌で開催されたマキシモヴィッチ百年祭(1927年11月23日~26日)に出席した牧野博士は、11月30日午後3時25分仙台駅着後、東北帝国大学生物学教室で講演(分類学の必要を高鳴)、会食し岡田氏宅に3泊しています。

岡田要之助氏作成のスエコザサの標本はこの12月3日に三滝(大滝八幡西側の沢)で採集されたものでした。



初の花付のスエコザサの標本

上野雄規氏(左)と筆者、津田記念館

豊かな自然、明るい未来を、 サプライチェーン・ロジスティクスで



郵船ロジスティクスグループは、持続可能な未来に向けて、地域の皆さまとともに歩みます https://www.yusen-logistics.com/jp_ja/ Yusen Logistics

祝 「伝統的酒造り」ユネスコ無形文化遺産登録 祝 土佐酒、世界で受賞ラッシュ! 「全米日本酒飲評会 2024」金賞率&金賞数日本一!

「伝統的酒造りのユネスコ無形文化遺産登録&土佐酒受賞ラッシュ祝い」に駆けつけた人々。高知市の観光名所「ひろめ市場」では振る舞い酒で大乾杯! 号外も配布されました。



昨年12月6日、高知市の観光名所ひろめ市場のよさこい広場で「伝統的酒造り無形文化遺産登録&土佐酒受賞ラッシュ祝い」の振る舞い酒イベントが開催されました。19歳36アイテム54本(720ml)の土佐酒がズラリと並び、燗酒関係で受賞したお酒の湯煎燗酒コーナーも! また「全米日本酒欲評会2024」にて、土佐酒は金賞獲得19点で、金賞率も金賞数も日本一に輝きました。「日本」全体のレベルが高い土佐酒は、天下を取りにいっせよ! かんぱ〜い! 主催の高知県酒造組合 竹村昭彦理事長(司牡丹酒造株式会社代表取締役)の掛け声と共に一斉に行われた乾杯シーンは圧巻でした!



食品ロス削減「もぐもぐチャレンジ」(株式会社アッシェ)
高知県地場産物大賞&環境省および消費者庁の「令和6年度食品ロス削減推進表彰」審査委員会特別受賞おめでとうございます!
「賞味期限や消費期限が迫った商品にシールを貼ることで、その商品を購入した人が食品ロスの削減、かつ地域に貢献できる」という取り組みが認められました。
サンシャイン佐川店では、お客様と協力して、牧野公園の維持費に役立ててもらおうようにと、佐川町役場「まちづくり推進課」への寄付(もぐもぐチャレンジ)が行われています。



バイカオウレン(佐川町牧野公園)



ホテルの中に新しい高知の観光「映え」スポットが誕生!

世界的なアーティスト光の切り絵作家である酒井敦美さんの作品が、高知の老舗ホテル三翠園で常設展示されています。この作品は、作品の中にクジラに乗って自分が入り込めるという何とも大らかで楽しいアイデア。床には鯨の魚群も泳いでいます。新しい高知の観光「映え」スポットは今春から放送されるNHK朝の連続テレビ小説「あんぱん」を観て高知を訪れる家族連れのお客様にも楽しんでいただけたらいいですね。



高知市の姉妹都市である北海道北見市の農協や農家などで作る団体が、若者に農業の未来の担い手になってほしいと企画した育成事業に参加された高校生3名。1月8日の昼間は、牧野富太郎博士が信頼できる人物に種を保存しておくよう依頼したことで絶滅を免れた牧野野菜「潮江菜」の収穫を見学するため、熊澤秀治さんの農業用ハウスを見学しました。夜は高知市はりまや橋商店街にあるはりまやアレンサンプルに場所を移し、チームマキノサポーターズの押岡洋子さんより「牧野野菜」について講義を受けた後、牧野野菜を使ったお料理を中心とした懇親会に参加されました。お料理を担当したのは、料理家の和田亜紀さん。高校生達も、この昼夜の連携と、実際に目にしたばかりの食材を使ったお料理のバリエーションに感激されていました。他にも高知ならではの料理(茄子のタタキやちくきゅう、鰹のタタキや刺身などもあったのですが)今回は牧野野菜を抜粋し、記録させていただけたらと思います。



山内家伝来大根を使ったおでん



潮江菜と豚肉と椎茸の炒め物



この日の牧野野菜は、潮江菜、山内家伝来大根、ネギ谷のネギでした。田村カブは、この時はなかったですが、以前記録させていたこちらの動画で、ご紹介させていただきます。



山内家伝来大根、潮江菜を使った土佐田舎寿司



ネギ谷のネギを使ったチヂミ



山内家伝来大根の葉を使った菜飯



潮江菜を使ったパスタ



山内伝来大根の葉、潮江菜を使った漬物